

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成26年4月23日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4690100500
法人名	有限会社 友星メディカル
事業所名	グループホーム谷山中央
所在地	鹿児島市谷山中央2丁目609-1 (電話) 268-1765
自己評価作成日	H26年1月28日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.jp/46/index.php
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 福祉21かごしま
所在地	鹿児島市真砂町54番15号
訪問調査日	平成26年2月27日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

その人のあるがままを尊重し穏やかに過ごしていただけるように支援しています。食事をお箸で食べられるように工夫しています。行事の中に外食にでかける機会をもうけています。家族会で利用者と一緒に手作りのお弁当を頂いています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

○谷山地区のほぼ中央に位置し、谷山街道、産業道路が近く、周辺にはスーパーや飲食店、緑地公園があり、利便性の良い地域に建てられている。ホームは、交通量の多い幹線道路より少し奥まった所にあるため、とても静かな環境である。敷地内にアパートが建っており、一般住民・法人職員が入居している。その住民と交流があり、災害時の協力も得られることになっている。

○職員のチームワークが良くとられており、平成16年の開設当初から在職している職員が多く、利用者・家族の信頼も厚い。職員一人ひとりの向上心が高く、在職してから個人で学習をして介護福祉士や介護支援専門員の資格を取る者が多い。新人職員も先輩職員の姿に良い刺激を受け、日々の介護技術や知識の向上に意欲をもって取り組んでいる。

○利用者が一番の楽しみである食事をとても大切に、こだわりを持って提供している。全職員が当番制で調理を担当しており、お箸を使って形のあるものを美味しく食べてもらえるように努めている。家族会の時にも手作りの食事を提供し、利用者・家族ともホームの食事はとても美味しいと好評である。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	開設時管理者と全職員で話し合い理念を作成します。毎朝その日の勤務者は理念の唱和をすることで理念の共有をし実践できるようにしています。	理念は平成16年の開所時に職員全員で作成している。一人ひとりが理念を理解し意識づけるために、玄関、キッチン、詰所等に掲示し、毎朝のミーティングの後には必ず唱話して確認しあっている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人員として日常的に交流している	敷地内を近隣者の近道・子供達の通学路として開放しています。町内会に加入し、地域の一人員として運動会に参加、敬老会に地域の方がボランティアとして参加して下さいます。	敷地内に会社所有のアパートが有り、入居者の往来や通学の子供たちも自由に行き来し利用者とかいさつをかわす等、日常的に交流が来ている。また、町内会に加入しており、運動会や敬老会にも参加することができ楽しみになっている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	地域の行事に参加して認知症の理解をしていただいています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	家族も参加して年3回取り組んでいます。運営推進会議そのものの取り組みが足りていません。	2ヶ月毎に開催し、内3回は家族の大多数が参加していて、積極的に意見交換が出来る環境が出来ている。出された意見はサービスや運営に活かしている。ただし、行政や地域包括センターの職員、自治会会長などに出席の呼びかけをしておらず、広く外部の方からの意見を吸い上げる機会となっていない現況である。	運営推進会議の趣旨を職員全員で再確認し、市や公民館長、民生委員等外部に出席を積極的に働きかけることでグループホームの理解と協力がさらに得られ、運営やサービスの質の向上に活かされることを期待します。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	市町村との積極的な関わりはもっていません。限られた人に対しては協力を頂いています。介護相談委員の受け入れをしています。	介護相談員の受入れは積極的に行っており、市の担当者や関係部署とは相談したい事例が生じた時や経済的な支援等で訪問や電話などで意見交換を行い、適切に助言頂くなど連携に努めている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	あるがままの個人を大切に、拘束をしない取り組みをしたいと努力しているが、玄関の開放にはいたっていません。	「身体拘束の三原則」を事業所理念と一緒に毎朝唱和している。マニュアル「身体拘束ゼロを目指して」に沿って、研修会や事例検討会を行い、全職員が個々に研修レポートをまとめて意識付けを行い、拘束のないケアに積極的に取り組んでいる。玄関ドアは外に出る時のみ上部をタッチする形式になっている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	職員同士が声を掛け合いながら虐待のない支援に努めています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	入所者の中に成年後見制度を利用されているので個々の必要性は認識しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	昨年、契約書の見直しがされ、家族会・運営推進会議で改正の説明をし、再度個々に説明して理解していただいています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	家族の要望や意見を聞く為に意見箱を設置しています。	利用者の意見や要望は日頃の介護を通じて把握に努めている。運営推進会議に年3回は大多数の家族が参加されており、診察時の同行に対する要望や外出先の希望などについて多くの意見を頂いている。また、面会時も随時、話しやすい雰囲気づくりに努めてご家族の気づいた点など何うようにしている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	毎月のミーティングで出た問題を管理者会議に提案し反映しています。	毎日の申し送り時や毎月の会議等で把握できた職員からの意見や要望等は、管理者会議に提案し、運営に反映させている。職員の定着率が高く、チームワークがうまくとられ、職員の意見や要望、提案が出しやすい環境が築かれている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	職員個々の努力を認め、やりがいのある職場づくりに努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>研修の機会が少なく今後の取り組みが必要です。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>他のグループホームと交流の機会があり、お互いの利点を取り入れ質の向上に努めています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>環境の変化による不安感を取り除くように本人の要望を受け止め、ADLの状況も職員が共有することで本人の安心を確保しながら関係づくりに努めています。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>入居前に家族・本人に面談した上で、体験入所のかたちで昼食をはさみ2時間程度過ごしていただき家族からの要望を聞いています。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>サービスの開始前に体験入所していただく中で情報を収集し本人に必要な支援を見極め他のサービスも含めて話しをすることもあります。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>日々の生活の中でできること、したいことを見極め一緒に家事を手伝っていただいたり、利用者同士で洗濯物たたみなどしながら関係づくりに努めています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	本人と家族の絆を大切にしながら受診・外出の支援をお願いし、また年3回の家族会に参加していただき食事を一緒に頂いています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	家族の協力を頂きながら、本人が大切にしてきた馴染みの関係が途切れないように支援しています。	利用前の生活歴や日常の会話、家族の面会等で馴染みの関係の把握に努め、関係がとぎれないよう適切に支援している。家族からの竹の子堀りの案内に参加したり、理美容は馴染みの店から訪問してもらっている。墓参りや一時帰宅等、家族の協力をいただきながら支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	職員が利用者同士の関係を把握した上で毎日の食事時間・お茶タイム・余暇時間など利用者同士が関わりあえるように必要に応じ職員が間に入り支援をしています。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービス利用が終了しても面会に行ったり、退所後も相談や支援が出来るように努めています。野菜を届けてくださる家族もいます。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	本人の希望、意向にそえるように努めています。意思表示の困難な方には表情、しぐさから思いをくみ取ったり、ご家族からの希望を聞き本人が暮らしやすいように努めています。	職員の定着率が高く、利用者との信頼関係が出来ており、ケアのなかで希望・意向等の把握に努めている。把握した内容は「申し送りノート」で共有を図っている。また、意思表示が難しい利用者については、生活歴や家族からの要望、日々の表情や動作等で汲み取るよう努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所後も、本人、ご家族の会話の中からこれまでの生活歴を聞きより深く把握できるように努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	ひとり一人の状況を共有しその人を総合的に把握し、その人の有する能力を引き出せるようにしています。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	必要な関係者と密に連絡を取り合いながら介護計画に反映できるように努めているが、いっそうの努力が必要です。	職員にはケアマネジャーの資格保有者が4人おり、介護計画の立案、モニタリングの重要性を十分共有出来ている。入居時のアセスメントで利用者及びご家族の要望は把握できており、計画作成時にご家族が欠席の場合は、電話等で確認し同意を得ている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の生活の中で気づいた事を朝・夕の申し送りで話し合い情報の共有に努め介護に反映しています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	公園・スーパー・レストランが近くにあり暮らしの中に散歩・買物・外食等を取り入れています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	敷地内を、近隣者の近道として開放することで外気よく等の際、気軽に声をかけていただいています。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医を大切に家族・職員で支援しています。	入所前のかかりつけ医を把握し、利用者・家族の要望に添っている。入院可能な近くの協力医療機関が閉じる予定であるが、事業所系列の総合病院と協力体制がとられ、利用者の変調に対して素早い対応をしている。受診の状況は「入居者受診状況」に記録して、家族へは適切に報告等を行い連携を図っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>職員の中に看護師がおり、関わりの中で気づいた事を報告し適切な診療が受けられるように支援しています。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院が発生したときは、家族・病院関係者との情報交換をし、早期に退院できるように相談しています。又退院後のホームでの生活がスムーズに行くように、面会等を行っています。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>家族会・運営推進会議で重度化した場合や終末期について話しています。</p>	<p>利用開始時に重要事項説明書に記載している「看取りに関する指針」について家族に説明している。具体的な実施に向けて職員間の研修を重ね、また、利用者及び家族の要望等の十分な把握に努め、それらに応えていける体制づくりに取り組んでいる。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>毎年救急救命講習を受け、急変や事故の発生に速やかに対応できるようにしています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年2回の火災訓練を行っています。防災意識の向上と初期対応の重要性を共有している。近所に駆けつけてくれる協力者がいます。</p>	<p>年2回昼夜の火災訓練の実施記録や防火のためのスプリンクラー、火災報知器等が整備されている。訓練の際には職員は連携して利用者の室外への誘導も出来ている。敷地内のアパートに職員も住んでおり、また、地域住民からの協力体制も築かれている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人ひとりの人格を尊重し、プライバシーの確保の為、職員同士が声を掛け合いながら対応しています。	毎月の接遇研修を通じて利用者の尊厳を守り、また、誇りやプライバシーを損なわない対応となるよう確認しあっている。特に、排泄の対応は食前後おおよそ2時間に慎重に声掛けを行っている。名前の呼びかけは利用者の希望に沿ってなされている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	個々に自己決定できるようにその人の持つ能力を見極め対応しています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ありのままに自分らしく暮らせる様に支援しています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	一人ひとりの個性を大切に自分なりのおしゃれが出来るようにしています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	お箸を使って形のあるものを美味しく食べてもらえるように職員も隣で一緒に食事しています。	全職員が調理の当番制になっている。おおよそ1週間の献立を立てて、利用者も出来る範囲で下ごしらえ等準備に参加している。外食、行事食は多種多様に計画されており、誕生日祝いは一人ひとり当日になされて利用者、ご家族にたいへん喜ばれている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量、水分量のチェックを行いながら支援しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	個々の状況に合わせ毎食後の歯磨きの徹底をしています。必要に応じ訪問歯科の対応も支援しています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	一人ひとりの排泄パターンを把握しその人に合わせたトイレ誘導、介助をしています。	排泄チェックで個人のパターンは十分に把握されている。また、長年の介護経験でトイレ誘導の声掛けは適切に行われ、多くの利用者に対して自立に向けての支援が実現できている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	野菜をふんだんに使った食事を取り入れ、また水分のチェックをおこない、個人にあわせた排便の支援をしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	曜日は決まっています（火・木・土）がその中で個々の希望やタイミングにあわせて支援しています。必要に応じて入浴もできます。	入浴日は決めてあるが随時希望も受け入れている。脱衣場はエアコンを設置しており、必要に応じてシャワー浴や足浴の対応も出来ている。午前中に入浴前のバイタルチェックを行い、入浴後の水分補給も適切に行われている。拒否された時は時間をずらす等工夫に努めている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個々の状況、体調にあわせて休息できています。夕食後のくつろぎ時間にお茶タイム等をもうけゆっくりとくつろぎ、安心して夜間就寝できるように支援しています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	内服薬の説明書を確認し、目的、副作用について確認、薬の変更、臨時薬についてはその都度申し送りをし情報の共有をはかっています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	外出、外食等の行事をもうけています。必要に応じて個々の外食支援もしています。その人に合わせた楽しみ、気分転換の支援をしています。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	その時の希望にあわせた外出の支援をスタッフや家族の協力で対応しています。地域の運動会にも参加型で楽しんでいます。	同系列の病院のバスを利用して、年4回の家族も参加できる外出が計画されている。時にはご家族の援助も頂きながら、希望に合わせてスーパーに出かけたり花見や散歩の外出を楽しんで頂いている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>個人でお金を持ちたい方には家族相談し協力、理解の下で自己管理の支援をしています。自己管理できない方にも外出時など自由に使えるように支援しています。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>希望に応じ電話できる体制にあります。年賀状などで家族に連絡しています。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>共有空間を利用し季節を感じられるように演出しています。</p>	<p>広い共用空間は掃除が徹底されており、清潔で換気や室温の調節も適切に行われている。季節に合わせて、クリスマスや七夕の壁飾りを利用者と一緒に作り飾ったり、季節の花を生けたり、四季を感じるリビングの空間作りを心がけている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>共有空間の食卓・ソファを配置しひとりに慣れたり、気の合う利用者同士でゆっくり過ごせるようにしています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>自宅から馴染みの家具・仏壇を持ってきて、本人が心地よく過ごせるように工夫しています。</p>	<p>備え付けのベッドや洗面所があり、利用者の使い慣れた家具や調度品が持ち込まれ、家族の写真を飾るなどその人らしい安心した暮らしができる環境になっている。それぞれの居室は清潔に気配りされて換気も定期的になされ、離床時には布団も整然とたたんであり生活にメリハリが来ている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>安全面に工夫し生活環境を整え、個々に合わせた自立した暮らしができるようにしています。</p>	/	/

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
		○	3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	毎朝ミーティング後に理念、身体拘束の三原則を唱和し、理念に日々取り組んでいる		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会に加入し、校区運動会等地域の一員として参加し、敬老会に地域の方々も参加していただいている（踊りなど）		
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	地域の行事を利用し認知症を理解して頂けるよう働きかけている		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議に利用者の家族にも参加頂いており、素直な意見を受けた上で社内ミーティングに生かしている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる。	生活保護の方を受け入れている関係から保護課の訪問介護相談員の訪問を受けている		
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	運営者、職員が介護保険法、指定基準に基づき禁止の対応となる具体的な行為を理解し、身体拘束をしないケアに取り組んでいる		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	利用者への言葉づかい、対応の仕方が本当に良かったか、スタッフ間での意思の交換をしながら虐待のない環境を作っている		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	成年後見人制度手続きに際し活用について、話し合う機会がなく遠ざかっている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	昨年、契約書の改定があった際、運営推進会議で改定点を説明し、後に個々に説明することで疑問点について返答できた		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	家族会で意見を頂くと共に入り口に意見箱を設置し苦情受け付けをしている、第三者機関を見やすい所に提示している		
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	代表者や管理者の声かけもあり、職員の意見も十分にふまえた上での運営が成り立っている		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	代表者は常に職員の状況を把握できるよう努めており、個々に声かけしたりより良い環境で働けるように尽力している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>研修は職員が交代で参加するようにしている、資料を使って講習している</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>他のグループホームと交流など行うことで自分のホームの良さ、他の事業所の良さを確認し情報交換を行っていく</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	常に利用者に話しかけ言葉の中に秘められた不満、不安に身を傾け安心して過ごせる様に努めている		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	サービスの開始の前に必ず本人、家族共にホームにて食事を摂って頂く事でリラックスした状況で不安等を聞く事が出来るようにしている		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	開始する段階で本人、家族が望む事を支援する事が出来る様、入所前の面会、説明の時間を多く取るようにしている		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	職員と一緒に昔話や会話を楽しみ利用者が掛けてくれる労りの言葉や笑顔に癒され支え合う関係がある		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		<p>○本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>毎月発行する「風のたより」で利用者の生活ぶり、毎月の金銭管理と一緒に担当者からのコメントを添えて報告している</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>面会時、健康状態や日々の暮らしぶりを報告している</p>		
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>一人ひとりが孤立する事のない様に、職員が間に入り利用者様同士が自然な形で関わりを持つ様に努めている</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>退所後も家族が相談できるホーム、スタッフでいられるよう精進する</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	本人の希望、意向に添える様、良い暮らしができる様に努めている、介護者の立場で物事を考えないで本人の立場で検討を重ねている		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所後も一人一人のこれまでの暮らしについて把握するように努める		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	ミーティングを行うことで総合的に把握し、スタッフ全員が情報を共有できるように努める		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	介護計画作成の段階で担当者会議は行っているが、家族の協力が乏しく、今後はもっと積極的な働きかけが必要である		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個々の日々の状況を記録すると共に申し送りノートを別に作成し、カンファレンス等を利用して情報を共有しながらケアを実践している		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	研修やミーティング等で広い視野を持てるように意識しており、本人にとってより良いサービスを受ける事ができるよう柔軟な対応を心がけている		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の方々と交流ができるよう機会を作り、外出をしており、利用者の方々も地域の方に話しかけたり、特技を披露する事で交流を楽しまれている		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	受診時の待ち時間について医療機関と相談の必要があると感じている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	日々のバイタル測定や様子観察で気づいた事をすぐに看護職員に相談できるよう3人の看護師が働きかけており、迅速な対応が出来ている		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	利用者が入院された時は面会を頻繁に行くようにして、馴染みの関係が途切れない様にしながら病院の関係者に状況を聞く事で病院、利用者とも良い関係が築けるようにしている		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入所時に終末期についての方針を説明しているが、重度化が予測された段階で再度の説明を行い、今後について本人、家族を交えての話し合いを行い、より良いケアが提供できるよう柔軟な対応を心がけている		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	応急手当や初期対応を消防を招いて講習を行なうと共に緊急時のマニュアルを独自で作成し見やすい所に設置している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	消防避難訓練、緊急救命講習を開き事故の防止に取り組んでいる		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	言葉の大切さをミーティング等で研修を行っているが関係が長くなった利用者に対しては少しくだけた話し方になってしまっている		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	理解しやすい言葉、ご本人が表現できる言葉を用いて自己決定出来るよう支援している		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりの生活パターンを崩さずその日を充実して過ごせる様に支援している		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	訪問美容を利用しており、希望に応じて行きつけの美容室に行けるように支援している		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事が楽しむ事ができる様に配膳、片付け等お願いして一緒に支援している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事、水分の摂取量を個別に記録しており、摂取量少ない時は、代用食等を個別に提供し一日を通して十分な栄養が摂れる様にしている		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、口腔ケアの声かけを全員に行い見守り、介助することで口腔内のチェックをしている、自歯の方は定期的に歯科医による口腔内のメンテナンスも行っている		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	自分で排泄を訴える事が出来ない方でも時間や行動パターンの情報を職員が共有する事でトイレで排泄出来るよう支援している		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎朝のヨーグルト、水分摂取により自然な排便があるよう取り組んでいる、また腹筋の弱い方へは体制の工夫等の声掛けも行う様にしている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴日(火・木・土)決まっているが希望があればいつでも入浴できる		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	馴染みの布団を持参して頂き、安眠できるよう環境を整えている		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個々の内服薬説明書をすぐに見る事が出来る場所に置くと共に服薬を保管している場所と受診状況の所に、内服の変更を書き込み状況の変化も確認している		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	個々の出来る事、やりたい事について、本人に聞いた上でカンファレンスを行い、本当にしたい事を実現出来るよう段階を踏んで支援するよう心がけている		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	天気の良い日は、散歩・外気浴を行い、本人の希望があれば個別での散歩の支援をしている、また普段行けない場所については事前の計画を練り家族の協力も頂く事で実現出来るようにしている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>自分で管理できない方は、買物に同行し支援している</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>家族との電話はゆっくりと話していただいている</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>共用空間には季節毎の飾りをしたり花を置く事で居心地のよい空間になるよう工夫している</p>		
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>テレビ前にソファを置き気の合った利用者同士で過ごしたりできる様にしている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入所の段階から出来るだけ本人馴染みの物を持って来て頂ける様、家族に働きかけており、本人を交えた状態で配置等行い、本人が居心地良く過ごせる様にしている		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	日々の清拭の中で気付いた危険な場所については、職員で話し合いを行い、安全に過ごす事が出来るよう工夫している、また状況の変化にも柔軟な対応が出来るよう心がけている		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
		○	3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない